

1. 「市報しものせき」全国広報コンクール入選について

（総合政策部 広報戦略課）

本日の定例記者会見は、総合政策部から1件で、「市報しものせき」の全国広報コンクール入選についてです。

公益社団法人日本広報協会が主催する「全国広報コンクール」は、地方自治体等の広報活動の向上を目的に、各種広報作品を評価し、優れた団体を表彰するものです。

この度、広報紙部門に「市報しものせき11月号」を応募したところ、県の審査会において全国広報コンクールへの推薦作品に選定され、全国に寄せられた全65作品の中から、見事入選を果たしました。

広報紙部門での入選は、平成8年（1996年）以来、実に29年ぶりのことです。

市報しものせき11月号では、「リノベーションまちづくり」をテーマに特集を組み、実際にまちづくりに奮闘する人たちにスポットを当て、「今あるものを活かして新しい使い方でまちを変えていく」という取り組みを紹介しました。

コンクールの審査員からは、「廃業した旅館や、かつての教員住宅など、具体的な事例を中心に街が生まれ変わっていく様子が分かる作りになっている。行政のバックアップがあることが実感できる。」と、高い評価を頂きました。

まちづくりに取り組む人たちの活躍と、それを支える市の体制が合わさって、入選に至ったことをとてもうれしく思いますし、この度の受賞は、まさに市民の皆さんの日々の頑張りが評価された証であると受け止めています。

これを励みに、今後もより充実した、広報活動に努めてまいります。

本日の記者会見は以上です。